

## 【MCS 利用上の留意事項】

### (1) 連携ホスト

- MCS で患者単位のグループを作り、それぞれの患者ごとにアクセスする必要のある事業所内外の医療介護従事者のみを招待して患者単位のチームを作る。1つのグループで複数の患者個人情報が混在するような運用は避ける。また、1人の患者について複数のグループを作成することは避ける。
- 連携ホストは、該当するユーザーが辞めた時や担当から外れた時には、スタッフ削除やサポーター解除など適切な処理を行う。また定期的に、患者グループごとに、参加しているサポーターが適切であるかどうかの精査を行う。
- 連携ホストは、MCS を利用しなくなった患者について、「アーカイブ機能」を使って速やかにアーカイブする。
- 連携ホストは、MCS の安全かつ適正な運用管理を図り、不正利用が発生した場合等は、MCS の利用を制限もしくは禁止する権限を有する。

### (2) MCS 管理者

- MCS 管理者は、事業所として担当しなくなった患者について、「アーカイブ機能」を使って速やかにアーカイブする。
- MCS 管理者は、MCS の安全かつ適正な運用管理を図り、ユーザーの不正利用が発生した場合等は、そのユーザーのMCSの利用を制限もしくは禁止する権限を有する。
- MCS 管理者も、以下に示す MCS 一般ユーザーの利用方法を遵守する。

### (3) MCS 一般ユーザー

- 情報セキュリティに十分に注意し、MCS の ID やパスワードを事業所スタッフを含む利用者本人以外の者に利用させたり、情報提供してはならない。
- 患者グループに招待を受けたユーザーは、自分がその患者グループに参加することがふさわしいかどうかを判断してから、招待の受理を行う。
- 各患者グループへの書き込みは、その患者に関することのみとし、別の患者の情報を書き込まない。
- 各患者グループへの書き込みは、MCS の位置づけを十分理解した上で、適切な範囲内での情報共有の場として利用する。
- MCS のグループごとに常にだれが参加しているのかをわかりやすくするためにも、MCS の個人設定で、スタッフごとにプロフィール、顔写真を登録する。
- 自分が担当からはずれた時には、該当する患者グループから、すみやかに「サポーター解除」を行う。
- 事業所を辞めた時など、MCS を利用する必要がなくなった時は、事業所から貸与されている端末があれば返却し、スタッフ誓約書に基づいて、必要な手続きを行う。
- MCS ユーザーは、書き込みの際して、確定操作（入力情報が正しい事を確認する操作）を行って、入力情報に対する責任を明示すること。
- MCS ユーザーは、与えられたアクセス権限を越えた操作を行わないこと。
- MCS ユーザーは、MCS のシステム異常を発見した場合、または使用する機器が紛失もしくは盗難等にあった場合には、速やかにMCS管理者に報告し、その指示に従うこと。
- MCS ユーザーは、不正アクセスを発見した場合、速やかにMCS管理者に連絡しその指示に従うこと。